

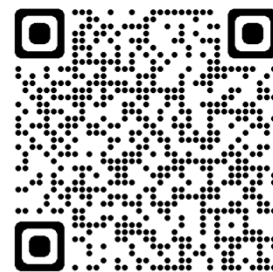
TEC-FORCE

Technical Emergency Control FORCE
緊急災害対策派遣隊

令和6年1月1日に発生した能登半島地震(最大震度7)における室蘭開発建設部”テックフォース“の活動状況

※TEC-FORCE「緊急災害対策派遣隊」とは・・・

国土交通省は、国土の総合的かつ体系的な利用、開発及び保全のための社会資本の整備・管理を行っています。TEC-FORCE隊員は、日常の河川や砂防、道路、港湾などの調査・計画・設計業務や現場業務で培った専門技術力を有しており、その技術力を活かし、被災地での二次災害防止や迅速な応急復旧のための被害状況調査などを行い、被災した自治体の早期復旧に向け、全力を挙げて支援するものです。



室蘭開発建設部から被災地へ派遣

[詳しくはこちら！国土交通省のTEC-FORCEのページへ→](#)

国土交通省は、被災地自治体からの要請を受けTEC-FORCEを派遣、室蘭開発建設部においては、第1陣、第2陣、第3陣の延べ10人を派遣しました。

第1陣 1月14日(日)



※苫小牧砂防海岸事務所前にて第1陣(砂防)の出発式

第2陣(砂防) 1月21日(日)



※室蘭開発建設部本部にて第2陣(砂防)の出発式

第3陣(水道) 1月28日(日)



※室蘭開発建設部本部にて第3陣(水道)の出発式

被災地における室蘭開発建設部TEC-FORCEの活動状況

第1陣 (砂防班)

第1陣は、令和6年1月16日、石川県能登町字中斉の調査箇所では被災状況の調査を開始しました。翌日の1月17日には能登町字柏木及び字宮地、1月19日には能登町字鮭尾ほか5箇所において調査を実施しました。隊員は、二次災害の危険に注意しながら、現場の計測や写真撮影、ドローンを使用した空撮等による調査を行いました。



※能登町字中斉での計測の様子



※能登町字柏木及び字宮地での現状撮影

※派遣隊を悩ませたのは道路状況でした。各地で道路が被災寸断され、状況が不明であったため、現地まで通常の倍の時間を要しました。そのため、被災現場まで行くためには、朝早くからの情報収集と行動開始が必要でした。

第2陣 (砂防班)

第2陣は、1月22日から調査を開始、1月26日まで輪島市門前町皆月など計12箇所では調査を実施しました。



※輪島市門前町皆月などでの調査



※斜面崩落の様子

第3陣 (水道班)

第3陣は、1月28日(日)～2月5日(月)にかけて、能登町で現地調査、関係機関と情報連携を行いました。



※作業現場に同行(能登町内)